

道具は右手のために

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：初めて読む英文から、具体例をつらぬく筆者の主張をつかむ / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

About one person in ten is left-handed. Look around your classroom. Three or four of your classmates probably write with the left hand.

Now look at the things around you. Scissors are made for the right hand. In a left hand, they do not cut the paper. They only bend it. On a spiral notebook, the rings sit under the left wrist. At the station, the card reader is on the right side of the gate.

None of these things were made to be unkind. They were simply made for the larger group, and the larger group never noticed.

Left-handed people get used to it. Many of them say they have never really thought about it. That is the quiet part of the problem: when the world has never fitted you, you stop expecting it to.

Some companies now make tools that work in either hand. That is not expensive. It only needs someone to ask, before the design is finished, who this thing is for.

〔語注〕 left-handed=左ききの spiral notebook=リングノート either=どちらの～でも

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

- (1) この文章がいちばん伝えたいことは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 左ききの人は右手を使う練習をするべきだ
- イ はさみは危ないので学校で使わないほうがよい
- ウ 身の回りの道具は多数派に合わせて作られている
- エ 左ききの人は日本ではとくに多い
- (2) 本文によると、左ききの人はどれくらいの割合？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 10人に1人くらい
- イ 3人に1人くらい
- ウ 100人に1人くらい
- エ クラスの半分くらい
- (3) はさみについて、本文が言っていることは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 右手で使うために作られたものしかない
- イ 左手で使うほうが、右手より上手に切れる
- ウ 左手では紙が切れず、折れ曲がってしまう
- エ 学校では左ききの人は使わないほうが安全である
- (4) 筆者は、何が必要だと言っている？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 身の回りの道具を全部、左きき用に買い換えてしまうこと
- イ 作り終える前に「誰のために作るのか」と問うこと
- ウ 左ききの友だちに右手を使ってもらうこと
- エ 学校に道具を全部変えるようたのむこと

道具は右手のために（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	ウ	第3段落 made for the larger group が主張。はさみ・ノート・改札はその例で、例そのものを選んだイは不可。
(2)	ア	第1段落 About one person in ten。同じ段落の Three or four of your classmates（教室に3～4人）とも一致する。
(3)	ウ	第2段落 they do not cut the paper. They only bend it.
(4)	イ	最終段落 It only needs someone to ask, before the design is finished, who this thing is for。アは本文が「高くない」と述べていることとずれる。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

01・02と同じ**大意→明示情報×2→筆者の提案**の階段ですが、この英文は**具体例が3つ並ぶ型**（はさみ・ノート・改札）です。(1)は「例を1つ選ぶ」誤答に引っかかりやすく、**例と主張の区別**が測れます。教室では、読んだあとに「自分の持ち物で同じことが起きているか」を英語で1文ずつ言わせると、そのまま帯活動になります。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	3つの例を1つの主張に束ねられるか。例そのものを選ぶ誤答が出る
(2)	明示情報	知識・技能	数値情報の読み取り。選択肢の数字を入れ替えるだけで難度を調整できる
(3)	明示情報	知識・技能	具体例の正確な読み取り。本文の言い換え（bend / not cut / fold）を見抜く
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	結論段落。「お金をかける」ではなく「問いを立てる」を選べるか

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

